

令和 5 年度進行管理・評価シート
佐渡市歴史的風致維持向上計画（令和 2 年 3 月 24 日認定）

□進捗評価シート(様式 1)

①組織体制(様式 1-1)	
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式 1-2)	
1 都市計画法との連携	2
2 景観法、屋外広告物法、佐渡鉱山及び鉱山町の文化的景観、自然公園法との連携	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式 1-3)	
1 佐渡奉行所整備事業	4
2 相川郷土博物館整備事業	5
3 旧佐渡鉱山採鉱施設保存活用整備事業	6
4 重要文化的景観整備事業	7
5 空き家等対策事業	8
6 道路美装化事業	9
7 階段整備事業	10
8 地域行事等支援事業	11
9 拠点施設整備事業	12
10 北沢浮遊選鉱場ライトアップ事業	13
11 まちあるきによる文化財等散策事業	14
12 文化財看板等整備事業	15
13 観光パンフレット多言語化事業	16
14 観光ガイド育成・活用事業	17
15 弥十郎駐車場再整備事業	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式 1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	19
2 文化財の修理、防災・防犯について	20
3 文化財に関する普及・啓発について	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式 1-5)	
1 (報道等タイトル名)	22
⑥その他(効果等)(様式 1-6)	
1 地域住民や民間業者の認知度向上	23

□法定協議会等におけるコメントシート(様式 2)	24
--------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和5年度
歴史的風致維持向上計画の実施体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 佐渡市世界遺産推進課、建設課を中心とした庁内推進体制を構築するとともに、法第11条の規定に基づく「佐渡市歴史的風致維持向上協議会」において、計画の進捗管理や変更等の連絡、調整、協議を行い、事業の推進を図る。
また、必要に応じて文化財や都市計画、景観に関する審議会や専門家会議等に事業の実施状況を報告し、助言を求める。

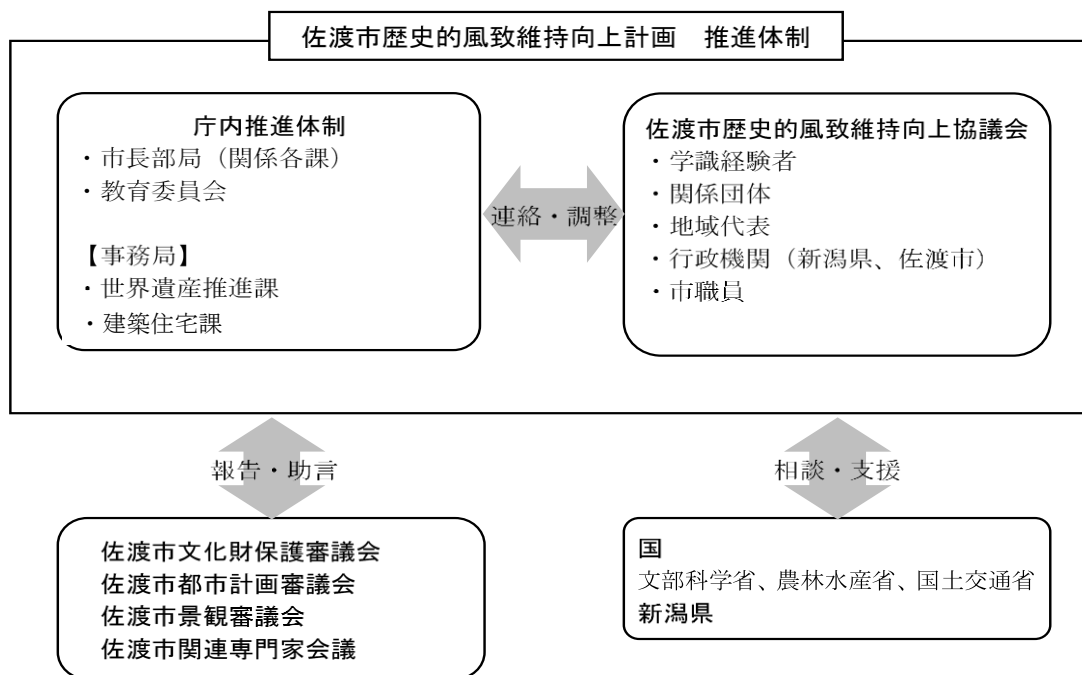
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

佐渡市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、庁内連携を図りつつ取り組んでいる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	審議事項がない場合(事業報告のみ)の協議会開催方法を随時検討している。

状況を示す写真や資料等

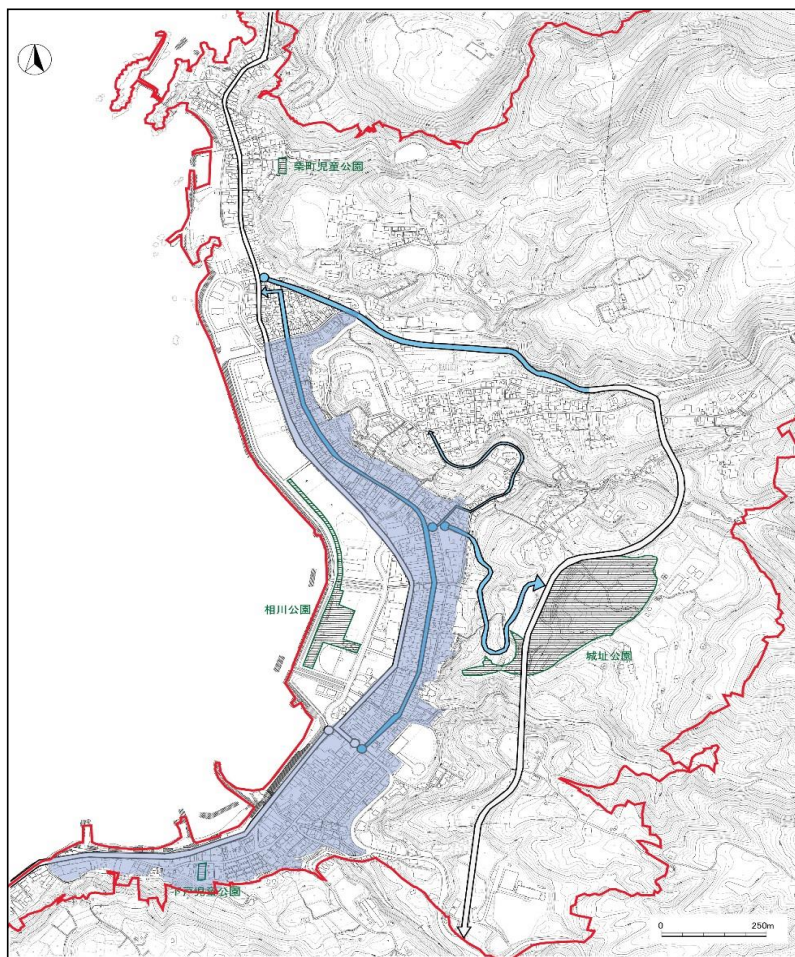
●計画の推進体制



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
都市計画法との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	重点区域の範囲である相川地区では、重点区域の全域が非線引き都市計画区域に包含される。なお、用途地域は指定されておらず、下町では建蔽率70%、容積率300%に定められているほか、上町及び下町の住宅が密集している地域は建築基準法第22条区域や、一部では準防火地域に設定されている。本市では、地域の実状に応じた適切な土地利用誘導を図っているところであり、今後も引き続きこれらの都市計画に基づきながら、良好な市街地環境の形成を図っていくこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
良好な市街地環境の形成のため、都市計画の各種規定に基づき、土地利用規制等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

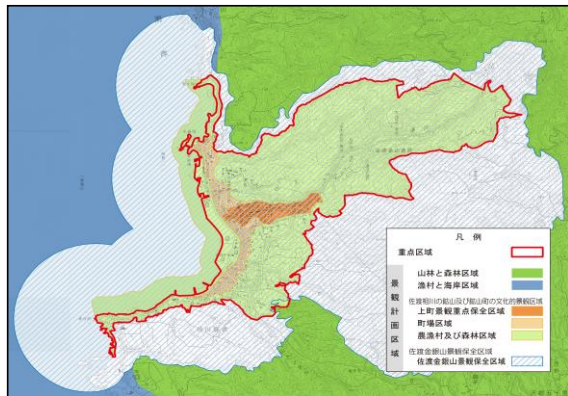


都市計画法に基づく規制等の状況

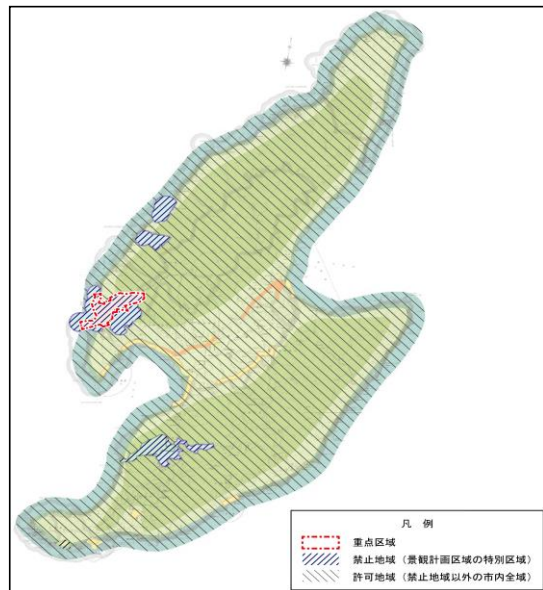
評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

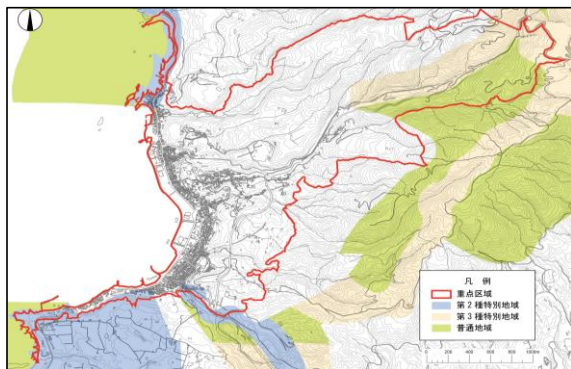
令和5年度		令和5年度
項目		現在の状況
景観法、屋外広告物法、佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観、自然公園法との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	佐渡市では上記施策に関連する取組みが進められている。今後も引き続きこれらの施策を継続し、連携を図っていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
文化財保護法との連携: 重点区域と重要文化的景観選定範囲が重複するため、各担当者間での情報共有を行った。また、景観法・屋外広告物・自然公園法担当者とも事前協議や情報共有等を行っている。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		



景観計画区域図



屋外広告物の規制地区



自然公園法による規制等の状況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目	現在の状況	
佐渡奉行所整備事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和9年度	
支援事業名		
計画に記載している内容	史跡「佐渡金銀山遺跡」の一部である佐渡奉行所跡に復元された建造物である佐渡奉行所は、経年劣化による破損等が懸念されるため、屋根及び外壁等の改修を行うほか、展示設備の整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・佐渡奉行所跡整備工事基本設計を行い、耐震予備診断、施設の破損状況の確認や修理方針を調査を行った。 ・史跡佐渡金銀山遺跡保存整備に関する専門家会議を、1月15日と3月26日の計2回開催し、専門家の意見を踏まえながら、屋根及び外壁等の修理方針をまとめた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	改修工事にあわせて耐震基礎診断を行い、今後の維持管理や来訪者の安全性を考慮した実施設計を検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
		
専門家会議の様子		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
相川郷土博物館整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	史跡「佐渡金銀山遺跡」の一部である御料局佐渡支庁跡は現在、相川郷土博物館に利活用されているが、経年劣化による破損等が懸念される。今後も引き続き来訪者が訪れる施設であるため、耐震補強を含む、改修や展示内容の変更を伴う整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和4年から継続している耐震改修工事について、文化材的価値のある資料に対して、専門家の意見を踏まえながら対応した。 ・史跡佐渡金銀山遺跡保存整備に関する専門家会議については、6月26日、1月15日、3月26日の3回、文化的景観の保存及び整備に関する専門家会議については、7月21日に開催し、専門家の意見を踏まえながら改修工事及び展示内容の調整を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和6年度の博物館リニューアルオープンに向けて、残りの展示資料の調整、施設管理や施設の運用方法について、引き続き関係者と協議しながら調整を進める。		
状況を示す写真や資料等			
 相川郷土博物館（工事後）  旧御料局佐渡支庁（工事後）  旧鉱山本部事務所 1 F 内部  ジオラマ展示（展示工事）			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
旧佐渡鉱山採鉱施設保存活用整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和11年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	重要文化財(建造物)「旧佐渡鉱山採鉱施設」である大立竪坑櫓、大立竪坑捲揚機室、高任(たかとう)粗砕場は、経年劣化による建造物や構造物等の毀損が進行しているため、これらの修理をはじめとする保存や公開活用に向けた整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
岩盤崩落の危険性が確認された大立地区の大立竪坑櫓背面の法面に対する安全対策のため、落石対策工(岩接着)を実施した(令和5～7年度工事)。なお、施工にあたり事前に建造物の保存活用に関する専門家会議より助言・指導を受けたほか、史跡、景観の各専門家からも指導・助言を受けながら実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	重要文化財に指定されている建造物の劣化や毀損が進行しており、保存修理に要する期間の長期化や修理費用の増加も想定されるため、専門家による指導を受けながら、適切な修理内容・事業スケジュールの更新や予算確保に向けた取組を進める必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
大立竪坑櫓保存修理用素屋根外観		大立竪坑櫓東側法面（岩接着施工後）	
			
法面岩接着施工前		法面岩接着施工後	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
重要文化的景観整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和11年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用整備事業費補助金		
計画に記載している内容	地域内には、重要文化的景観の重要な構成要素となっている歴史的な建造物等が多数存在しているが、それら建造物等の修理や修景に関する費用の一部を補助金により支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要文化的景観の重要な構成要素となっている建造物2件の修理事業に対して補助金を交付した。また、文化財の価値を適切に保存するため、同事業における工事の設計監理を実施した。 次年度に修理を予定する建造物(相川地区5件)の現況調査を実施し、劣化状況や修理方針の検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	重要文化的景観の価値を保存しつつ適切に建造物を修理するため、所有者及び施工業者と綿密な連携を図る必要があるが、これらの協議にあたり協議時間が長期化してしまう場合があるため、円滑な事業の進捗に向けてスケジュール調整等に留意する必要がある。		

状況を示す写真や資料等



個人宅板塀修理前



個人住宅板塀修理後



個人宅主屋修理前



個人宅主屋修理後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
空き家等対策事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和11年度	
支援事業名	空き家対策総合支援事業・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	空き家等の有効活用を通して、地域の活性化及び良好な景観の形成の促進を図ることを目的に、空き家等の再生に必要な改修経費等の一部について補助金を交付する。 また、歴史的建造物ではなく、景観を阻害している物件については、所有者等と連携を図り、除却する対策を講ずる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
重点区域である相川地区の歴史的建造物の修理事業に対し補助金を交付した(当初計画5件→交付決定6件)。 重点区域内の特定空き家等及び不良住宅の所有者等による除却支援を行った(2件)。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	1年間での修理事業となるため、修理内容の検討や景観保全に向けて、所有者や施工業者に対し適切な施工方法への誘導や管理を行う必要がある。また、都市再生整備計画事業の計画期間後の財源を確保する必要がある。 地域内に管理不全空き家が数多く存在するが、所有者等による対応がなされないケースが多い。	
状況を示す写真や資料等		
 金剛院 修理前(建具)  金剛院 修理後(建具)  観音寺 修理前(屋根)  観音寺 修理後(屋根)		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
道路美装化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	歴史的建造物等を回遊する際の来訪者の利便性向上のため、重点区域内の市道の舗装及び側溝蓋等の美装化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開粒度アスファルト混合物の空隙部にセメントミルクを充填させ、たわみ性と剛性を併せ持った「半たわみ性舗装」を採用し、さらに表面処理を行うことで洗い出し風の落ち着いた風合いを醸している。 令和4年度に京町通り1,096m、令和5年度は、側溝の景観蓋の改良を含む8路線453mを発注し、令和6年10月に完了見込である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	資材等の高騰により、予定区間の整備は事業期間内における完了が見込めず、特定財源である社会資本整備総合交付金を充当するためには都市再生整備計画の第2期計画が必要となり、事業継続の可否もしくは事業規模の見直しが必要になる。		
状況を示す写真や資料等			
京町通り：上町のメインストリート			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
階段整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	坂の多い重点区域内において、市民や来訪者の歩行を補助するため、周囲の歴史的な背景を持つまち並みに調和したデザインの新たな手摺りを設置するとともに、階段の修繕等も併せて行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
現状、金属製や木製であった手摺りを手触り性に配慮した樹脂製に変更し、転落防止を兼ね備えたデザインのものに統一する。令和4年度に紋兵衛坂、蔵人坂、柄実坂の計267mを整備した。令和5年度については、西坂、長坂、黒坂の計304mを発注し、令和6年6月に完了見込である。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		令和6年度への繰越工事が完了するとともに本事業が完了となる。	

状況を示す写真や資料等



紋兵衛坂



柄実坂



蔵人坂



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
地域行事等支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民団体や集落、祭り実行委員会などが主体となって行う祭り行事やイベントなど地域づくりの取組に対し支援を行う。(重点区域内においては、鉾山祭り、佐渡國相川ひな祭り、春日神社薪能、宵乃舞)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域で実施される地域活動団体による地域づくりの取組みに対し、補助金などを活用し、地域行事等の支援を実施した。(合計4件)			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		コロナが収まったことにより、地域の祭りの実施が元に戻りつつある。	

状況を示す写真や資料等



宵乃舞の様子



春日神社薪能の様子



宵乃舞の様子



鉾山祭の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
拠点施設整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和11年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	上町を中心に、地域の拠点と成り得る公有化した歴史的建造物(旧深見家住宅、旧鉱山倶楽部、左門町住宅)が存在している。これらについて、周辺の歴史的建造物と一体となったまち並みとしての景観保全を図り、人と文化の交流など、観光・まちづくり等の拠点として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
上町地区(相川中京町)に所在する旧深見家住宅の拠点施設整備に向けて、保存修理工事を実施している(令和5～6年度)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	施設の効果的な活用を図るため、関係団体等との綿密な調整が必要となる。		

状況を示す写真や資料等



旧深見家住宅外観



旧深見家住宅内部部材取外し状況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
北沢浮遊選鉱場ライトアップ事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和11年度		
支援事業名	離島活性化交付金		
計画に記載している内容	世界遺産登録を目指す当地区において、当時の歴史・文化を色濃く残す北沢浮遊選鉱場について、夜間ライトアップを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年4月22日から令和6年2月29日まで点灯を実施し、延べ28,327人が鑑賞した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	夜の魅力ある観光地づくりとして、関連イベントを実施する等、さらなる賑わい創出を検討する。		

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
まちあるきによる文化財等散策事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	健康づくりを兼ねたまちあるき散策コースの設定		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高齢者が健康づくりをかねて散策できるコースの設定を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実際にコースを歩いてもらうところまでは実施できなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		どのコースも階段や坂道が多いコースであるため、体力や体調に合わせてショートカットするなど、ルートの検討が必要と思われる。 消費カロリーの計算ができると良い。	
状況を示す写真や資料等			



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財看板等整備事業		☐実施済 ☐実施中 ☒未着手	
事業期間	令和3年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	多言語化や通信機器に対応した文化財解説板のほか、来訪者誘導のためのサイン及び散策マナー周知看板等の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「佐渡島の金山」の世界遺産登録決定後において、道路案内看板の変更を行う。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない	道路案内看板は、構成資産名称が確定した後に変更を見込んでいる。		

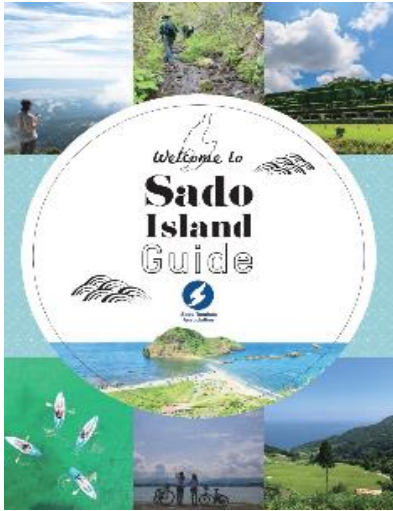
状況を示す写真や資料等



市道 3箇所設置

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
観光パンフレット多言語化事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)		
計画に記載している内容	外国人観光客を含めた来訪者に効率的・効果的に情報発信するため、多言語に対応したパンフレット等を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
英語版パンフレット 5,000部、英語版観光マップ 1,500部、繁体字版パンフレット 5,000枚 外国人が来島した際の情報が不十分だったため、着地型パンフレットの充実化を図ることで、周遊観光を促進した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	パンフレットやwebサイトを構築する際にはターゲットや、情報取得のタイミングなどの戦略が必要だが、コロナ禍で需要や旅行スタイルが変わって以降のインバウンドに関する方針が定まっていない。		
状況を示す写真や資料等			
【英語版パンフレット】		【英語版観光マップ】	
			
【繁体字版パンフレット】			
			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
観光ガイド育成・活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	歴史的建造物や歴史・文化について語ることでできる市民ガイドの育成を強化する。併せて、今後増加が予想される外国人来訪者に向けた外国語ガイドの育成を行うとともに、活用の仕組みを構築する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
3/2 佐渡金銀山ガイド研修を実施(参加者 30名) 現地ガイドとして活動しているふれあいガイド、金銀山ガイド、ジオパークガイド、トキガイドを対象とした、インバウンド需要に対応するための研修会を実施した。講師には全国通訳案内士および佐渡市国際交流員による、佐渡の魅力に関するディスカッションと現地研修を実施し、インバウンド需要に関する見識を深めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	既存ガイドを多言語対応させるにはハードルが高く、啓発につながる研修会の実施と合わせて、ハイレベルなガイドを要請する取り組みや、自動通訳アプリ等のソフトウェアを活用する取り組みへの検討も必要。		
状況を示す写真や資料等			



ガイド研修の様子

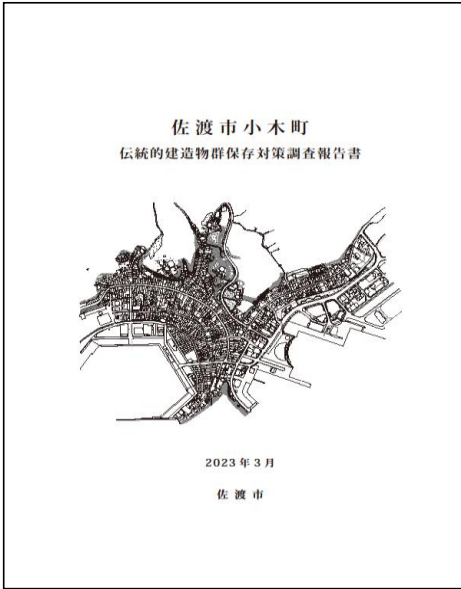
評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
弥十郎駐車場再整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金		
計画に記載している内容	・弥十郎駐車場の隣地に新たな駐車スペースを確保する。 ・駐車場の増設をするとともに公園を併設し、来訪者が利用しやすいスペースとして再整備を実施する		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年6月に基本・実施設計契約を締結し、地元関係者との協議及び令和5年2月、5月開催された佐渡市文化的景観の保存及び整備に関する専門家会議での意見をふまえ、設計を進めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	令和5年度繰越事業となり、引き続き設計を進めていたが、計画に大幅な変更が生じ(NPO所有の建物活用)ている。		
状況を示す写真や資料等			
			
			
弥十郎駐車場			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市内にある指定等文化財については、関連法令に基づいて保存・管理を実施するとともに、その所有者や管理者に対して、保存・管理に向けた助言等を行っている。 未指定の文化財を含めた具体的な保存活用の計画については、文化財保護法に基づき、新潟県における「文化財保存活用大綱」の策定状況を鑑み、その内容を踏まえた「文化財保存活用地域計画」の策定を検討する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
小木地区の伝統的な町並みについて、令和3年度から2ヶ年に渡り伝統的建造物群保存対策調査を実施した。保存対策調査の結果、小木町地区は明治37年(1904)の大火によって多くの町家が被災したものの、伝統的な形式を継承して再建された伝統的町家が数多く残り、文化財として高い価値を有していることがわかった。 佐渡市では、伝統的な町並みを持続的に維持していくため、佐渡市小木町伝統的建造物群保存活用計画を策定した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も各担当者と情報共有を行いつつ事業を進める。	
状況を示す写真や資料等		
 佐渡市小木町 伝統的建造物群保存対策調査報告書 2023年3月 佐渡市  佐渡市小木町伝統的建造物群保存地区 保存活用計画 令和5年3月4日 告示 (佐渡市教育委員会告示第22号) 佐渡市教育委員会		
佐渡市小木町伝統的建造物群保存対策調査報告書 佐渡市小木町伝統的建造物群保存活用計画		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
文化財の修理、周辺環境の整備、防災・防犯について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	指定文化財の修理にあたっては、文化財保護法や新潟県及び佐渡市の文化財保護条例に基づき適切に行うとともに、必要に応じて文化庁や新潟県、佐渡市文化財保護審議会などから指導・助言を受けるなど、関係機関や専門家と連携して実施する。なお、所有者等の財政的な負担軽減を図るため、各種補助制度を積極的に活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
相川地区の国史跡や文化的景観の範囲において、環境整備及び世界遺産登録に向けた機運醸成を図るために、草刈りボランティア活動を6月から10月かけて3回実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化財の修理や周辺環境の整備に関しては、他自治体における修理事例や専門家による指導を受けながら、適切な修理内容・事業スケジュールの更新に向けた取り組みを進める必要がある。	
状況を示す写真や資料等		



国史跡（上相川地区）での景観保全活動の様子

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発について		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	重点区域内にある佐渡金銀山ガイド施設を発着点に、佐渡金銀山の魅力や価値を伝えるためのイベント等の開催により、文化財の情報を広く発信し、普及・啓発をするための取り組みを行っている。 将来の文化財保存に向けた次世代育成として、児童や生徒を対象とした郷土学習や課外授業を行っている。さらに、歴史資源や文化を活かしたまちづくりに関する講演会・シンポジウム等の開催を通して、地域におけるまちづくりへの取り組みを促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
金銀山ガイド施設では普及啓発を目的とし、年数回のイベントや企画展を実施している。 また、地域の特色ある埋蔵文化財活用事業にて、市内の小中学生を対象に出前授業などを実施した。 デジタルコンテンツを活用した普及・啓発・広報を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		イベントや講演会への参加者が固定化しつつあるため、様々な年齢や職種等が興味を持ち、参加しやすい行事を検討する。	

状況を示す写真や資料等



現地見学会
(令和5年6月)



佐渡金銀山音声ナビ運用開始
(令和5年4月)



Webコンテンツ (ARフォトフレーム)
(令和6年3月)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和5年度
年月日		掲載紙等	
世界遺産登録を見据え音声ナビ導入		令和5年4月26日	サドテレビ、新潟日報ほか
市民一丸まちづくりを高岡で北陸歴史サミット		令和5年11月1日	富山新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

世界遺産登録関連の事項が多く報道された。また10月には富山県高岡市で第2回北陸歴まちサミットが開催された。これらの報道等を通し、引き続き広報を行うことで、歴史的風致の維持向上に関する地域住民の認識が高まることが期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	SNS等の積極的活用、北陸地域との歴まち連携による普及啓発も検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



佐渡金銀山音声ナビ運用開始
(令和5年4月)



佐渡金銀山音声ナビ運用開始



北陸歴まちサミットの様子(歴まちカード発行)



北陸歴まちサミットの様子(令和5年10月)

項目		評価対象年度	令和5年度
地域住民や民間業者の認知度向上			
計画に記載している内容	鉾山町相川の歴史・文化を活かしたまちづくりを進めるために策定した「佐渡市歴史的風致維持向上計画」を広 く市民に周知するため、民間業者と協働し商品開発を行った。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
令和3～4年度に歴史的風致や世界文化遺産をテーマとし、民間事業者が開発した商品が、さらに発展し、多くの子どもた ちが遊べるすごろくが誕生した。 北陸4都市において、歴まちカードの発行された。今後地域住民や観光客などから認知度向上が期待される。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	今後も継続的に情報提供等を行い、地域住民や民間業者と協働したまちづくりを行う。		
状況を示す写真や資料等			
 開発された「金山すごろく」  新たに開発された「巨大金山すごろく」  自然彩る文化の島 佐渡市 佐渡の民謡～相川音頭と京町通り～ 歴まちカード			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和6年度第1回佐渡市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和6年5月22日(水)13:30~15:30	
(コメントの概要) ○進行管理・評価シートについて ・駐車場整備事業について、周辺に駐車場がない。駐車場が欲しいという意見もある。はやく整備を進めてほしい。 ・観光ガイド数が足りないと聞く。実際はどうか。佐渡全体の総合的なガイドも必要である。 ・佐渡奉行所整備について、佐渡奉行所は復元の建物であるため、再整備には、文化財の修理とは違う視点で割り切ってやったほうがよい。全国の事例を参考にして、検討をお願いしたい。 ・地域行事等支援について、地域住民がボランティアでやっている面もある。行政にも協力してほしい。 ・世界遺産登録に向けて、宿泊施設数や外国人対応について心配がある。 ○令和6年度の事業について ・地域行事等支援について、小さな集落の行事もある。地域の人たちと一緒に話し合いながらすすめてほしい。 ・誘導看板整備について、見づらい看板もある。もう少し手直しするなどしてほしい。 ・階段整備について、(計画以外の)防災の避難経路になっている道がある。また近くにトイレがある。その辺の整備をしてもらいたい。	
(今後の対応方針) ・駐車場整備については、現状パークアンドライドの取組みを進めると共に、再度検討する。 ・佐渡奉行所整備については、専門家会議を通じて、相川の気候や風土にあわせた修理方針としたい。 ・世界遺産登録後のオーバーツーリズム対策として、周遊バスや直行バスの運行、他地域との宿泊先の連携を進めている。 ・階段やトイレの整備については、詳細も含め、確認していきたい。	